富山大学教育学部紀要A（文科系）No.40：49－61（平成四年）

ＭＩＮＩ性格検査の開発手続きについて

村上　宣寛

（1991年10月16日受理）

The Development Procedures of MINI Personality Inventory

Yoshihiro MURAKAMI

The authorized translation of the MMPI was so erroneous and inacurate that the new translation of the original MMPI was sincerely hoped. The new MMPI was named MMPI-1 and the computer-based test interpratation systems are available. The purpose of this article was to describe the development procedure and the interim findings of the MINI personality inventory, which contained 250 items of the MMPI-1. The basic scales of the MINI had salient correlations (over 0.90) with MMPI-1 scales, and the coefficients of α were nearly equal to the original scales of the MMPI-1. The tentative scales were reported in Table 1 to 14. As like the MMPI-2, nine content scales were developed on the factor analysis of the 250 items and on the examination of α. Those were named as DEP, ASS, SUS, PAR, BOD, SOC, TEN, FEM, and SAD. The test-retest reliabilties were reported in Table 16. The MINI was disclosed as a compact and very reliable MMPI compatible personality inventory.

Key words : CBTI, Inventory, MMPI, MIMI, Personality

はじめに

ＭＭＰＩのオリジナル版は質問項目が566と多いため，正常者では40分前後で実施できるが，精神障害者の多くは１時間以上，入院患者では２時間以上かかることもまれではない。特に知的能力の低下した患者や高齢者では実施に困難を伴う場合もある。そのため，様々なＭＭＰＩ短縮版が提案されてきた。アメリカ版でもっとも簡単な方法はＳ方式の冊子を採用することで，399項目に回答すれば，妥当性尺度と臨床尺度が採点できる。この方法によれば基本尺度についてはＭＭＰＩオリジナル版と完全に同一であるが，依然として項目数は多すぎるし，内容尺度や特殊尺度などＭＭＰＩで慣習的によく利用される尺度は採点できない。基本尺度の得点を推定する方法を採用すればもっと項目数を減らすことが可能である。そのような短縮版として，Kincannon (1968) のＭini－Ｍult，Dean (1972) のＭidi－Ｍult，Faschinbauer (1974) のＦＡＭ，Overall and

Gomez-Mont (1974) のＭＭＰＩ－168などがある。

ＭＭＰＩ短縮版のうち，ＦＡＭとＭＭＰＩ－168は，比較的優れているが，広くは用いられていない。ひとつの理由は独立した質問紙としての検討が不十分であり，その結果，使用頻度も低いものと思われる。ＭＭＰＩ短縮版の多くはＭＭＰＩと高い相関を持つように項目選択を行い，重回帰式で尺度得点の推定を行っている。しかし，作成途中で信頼性の検討は行われていない。ＦＡＭだけは作成後に再検査信頼性を測定したが，Ｌについては不十分な値であった。

日本で広く使われている三京房版ＭＭＰＩは翻訳に誤りが多く，実質的に14の基本尺度以外は利用できないし，採点盤を回答用紙の上に重ね，手で数えるという原始的な方法では，特殊尺度の採点盤があっても労力的な限界がある。マニュアルも貧弱であるので，心理臨床家がそれを読んでまともな解釈を引き出すことはむずかしい。筆者らはＭＭＰＩオリジナル版566項目を忠実に翻訳し，コンピュータ方式で個別に標準化し，ＭＭＰＩ－１自動診断システムを作成した（村上・村上，1992)。ＭＭＰＩ－１はコンピュータ処理を前提としているので，常に129尺度を用いてＭＭＰＩから最大限の情報量を引き出すことができる。自動解釈文は質量ともに心理臨床家のものをはるかに上回る。質問項目が566あっても，実施する価値は認められるだろう。しかし，慢性の入院患者や老人ではやはり項目数が多すぎて実施が困難な場合があるし，メンタルヘルス関係のスクリーニング用のもっと軽快なシステムがあっても良い。そこで，尺度レベルでＭＭＰＩ－１と互換性を保ちつつ，独立した質問紙として使用に耐えるＭＩＮＩ性格検査を開発した。ＭＭＰＩ－１基本尺度と0.90以上の相関があり，α係数は同等以上，再検査法による信頼性係数はＬが0.70から0.88の間で，満足できる値であった。後述する内容尺度のα係数は比較的高く，また，信頼性係数は0.80から0.93とさらに高く，かなり上質の性格検査であることを裏付けた。村上・村上（1992）にその概要は記載したが，ここでは開発手続きの詳細と中間データを発表しておきたい。

基本尺度の開発

ＭＩＮＩはＭＭＰＩ短縮版と同様に項目数を減らすことを目指したが，信頼性や妥当性を犠牲にすることは考えなかった。いくつかの予備的分析の後，項目選定の基準を，ＭＭＰＩ尺度との相関が0.90以上で，内的整合性（α係数）が0.70以上とした。しかし，ＭＭＰＩは経験的方法によって構成されたので，α係数は全体的に低く，原尺度のα係数が低い場合が多かったので，原尺度のα係数を下回らないことが実質的な条件となった。項目分析はＭＭＰＩ－１標準化データを元に試行錯誤的に行った。手続きは以下の通り。

手順１．原尺度に属する質問項目の主成分分析

手順２．原尺度の素点と各質問項目との相関の算出

手順３．相関，もしくは，第１因子の因子付加量の高い質問項目を集め，暫定版尺度を構成する。

手順４．暫定版尺度の素点の算出

手順５．暫定版尺度と原尺度の相関係数の算出

手順６．暫定版尺度のα係数の算出

手順７．項目選定の基準を考慮する。不満足なら手順２へ戻る。この場合，相関が高くてもα係数が低い場合は主成分分析の第１因子に属する質問項目を優先的に加える。相関が低すぎる場合は相関の高い質問項目を加える。基準が満足されれば終了する。この手続きを13尺度ごとに繰り返した。暫定尺度は各々８前後を作成することを目標とした。

表１から表14に基本尺度に関する暫定尺度を示す。☆印が採用したＭＩＮＩ基本尺度である。

妥当性尺度のＬの作成過程は表１に示す。ＬはＬ１からＬ８までの８つの暫定尺度を作成した。Ｌ８はオリジナル版Ｌと0.926の相関があり，α係数も0.426とオリジナル版より大きかったので基本尺度として採用した。

Ｆ尺度の作成過程は表２に示した。ＦはＦ１からＦ８の８つの暫定尺度を作成した。Ｆ８はオリジナル版より30項目少ないが，相関は0.904あり。

表１　Ｌ尺度の作成

L	Item	r	α
L	15	(Original)	.359
L1	12	.965	.410
L2	8	.875	.437
L3	4	.769	.274
L4	10	.941	.400
L5	9	.922	.398
L6	10	.896	.317
L7	9	.891	.312
L8	11	.926	.426 ☆

表２　Ｆ尺度の作成

F	Item	r	α
F	64	(Original)	.650
F1	39	.935	.650
F2	36	.932	.624
F3	30	.900	.586
F4	38	.934	.642
F5	24	.807	.644
F6	31	.862	.655
F7	35	.905	.661
F8	34	.904	.641 ☆

表３　Ｋ尺度の作成

K	Item	r	α
K	30	(Original)	.687
K1	25	.988	.749
K2	21	.968	.780
K3	19	.961	.783
K4	15	.944	.768
K5	8	.852	.704
K6	12	.921	.742
K7	11	.906	.734 ☆
K8	10	.881	.732
K9	9	.771	.442
K10	18	.946	.676
K11	11	.819	.520

またα係数もほぼ同等であったので基本尺度として採用した。

Ｋ尺度の作成過程は表３に示した。ＫはＫ１からＫ11まで11の暫定尺度を作成した。α係数を高めるような尺度選択を行うと相関が下がってしまい，結局，Ｋ７を基本尺度として採用した。Ｋ７は11項目とオリジナルの１／３ほどで項目数は少ないが，相関は0.926，α係数も0.734と高かった。

Ｈｓ尺度の作成過程を表４に示した。Ｈｓ尺度はさまざまの心気症状を記述した項目の集まりであり，その結果オリジナル版もα係数は低かった。暫定尺度はＨｓ１からＨｓ７の７つを作成した。相関を高めに維持しつつ項目数を減らすことは可能であったが，α係数が顕著に落ち込んでしまった。それで基本尺度としてはＨｓ４を採用した。Ｈｓ４は相関が0.899，と基準ぎりぎりであったが，α係数は0.411ともっとも高かった。

Ｄ尺度の作成過程は表５に示した。Ｄ尺度もさまざまな抑鬱症状の集まりであり，オリジナル版のα係数は低めである。暫定尺度はＤ１からＤ１４の14種類を作成した。項目数を減らすと相関とα係数を高めに維持することは難しく，結局，30項目のＤ14を基本尺度として採用した。Ｄ14は相関が0.909，α係数が0.510と比較的満足できる値であった。

Hy尺度の作成過程は表６に示した。Ｈｙもさまざまな症状群を表わすのでオリジナル版のα係数は低めである。暫定尺度はＨｙ１からＨｙ８まで作成した。半数以下に項目数を減らすと相関とα係数がともに低下してしまうので，Ｈｙ８を基本尺度に採用した。相関は0.903，α係数は0.428あり，ほぼ満足できる値であった。

Ｐｄ尺度の作成過程は表７に示した。暫定尺度はＰｄ１からＰｄ９まで９つを作成した。Ｐｄも尺度数を半減すると相関とα係数がともに低下してしまう傾向があった。結局，二つの基準を満たすＰｄ６を基本尺度として採用した。相関は0.907，α係数は0.587と満足できる値であったが，15項目しか減らすことができなかった。

Ｍｆ尺度の作成過程は表８と表９に示した。男性ではＭｆＭ１かＭｆＭ６まで６つの暫定尺度を作成したが，ＭｆＭ１より項目数を減らすことが

表4　Hs尺度の作成

Hs	Item	r	α
Hs	33	(Original)	.285
Hs1	23	.932	.180
Hs2	20	.919	.215
Hs3	14	.880	.379
Hs4	15	.899	.411☆
Hs5	17	.912	.285
Hs6	16	.908	.218
Hs7	24	.933	.184

表5　D尺度の作成

D	Item	r	α
D	60	(Original)	.476
D1	46	.953	.363
D2	49	.955	.371
D3	50	.956	.374
D4	38	.910	.265
D5	59	.999	.475
D6	4	.665	-.209
D7	8	.752	-.090
D8	12	.784	.007
D9	13	.761	.304
D10	22	.868	.321
D11	31	.913	.519
D12	25	.866	.380
D13	28	.883	.383
D14	30	.909	.510☆

表6　Hy尺度の作成

Hy	Item	r	α
Hy	60	(Original)	.433
Hy1	39	.911	.402
Hy2	21	.751	.314
Hy3	37	.871	.362
Hy4	29	.827	.358
Hy5	36	.877	.383
Hy6	39	.914	.418
Hy7	35	.886	.426
Hy8	37	.903	.428☆

表7　Ｐｄ尺度の作成

Pd	Item	r	α
Pd	50	(Original)	.573
Pd1	38	.915	.436
Pd2	31	.867	.471
Pd3	36	.913	.599
Pd4	27	.838	.509
Pd5	28	.839	.505
Pd6	35	.907	.587☆
Pd7	31	.888	.529
Pd8	32	.890	.509
Pd9	34	.905	.484

表8　Ｍｆ尺度の作成（男性）

Mf(M)	item	r	α
Mf	60	(Original)	.657
MfM1	31	.903	.606☆
MfM2	33	.840	.642
MfM3	34	.882	.595
MfM4	39	.900	.591
MfM5	32	.814	.700
MfM6	36	.882	.667

表9　Ｍｆ尺度の作成（女性）

Mf(f)	item	r	α
Mf	60	(Original)	.574
MfF1	30	.871	.479
MfF2	24	.854	.401
MfF3	36	.903	.563☆

表10　Ｐａ尺度の作成

Pa	item	r	α
Pa	40	(Original)	.669
Pa1	30	.945	.651
Pa2	27	.910	.619
Pa3	21	.819	.598
Pa4	26	.902	.630
Pa5	19	.834	.711
Pa6	27	.922	.716
Pa7	26	.919	.714
Pa8	25	.905	.709☆

表11　Ｐｔ尺度の作成

Pt	item	r	α
Pt	48	(Original)	.792
Pt1	37	.985	.818
Pt2	20	.947	.818
Pt3	12	.907	.815☆

表12　Ｓｃ尺度の作成

Sc	item	r	α
Sc	78	(Original)	.773
Sc1	47	.962	.838
Sc2	17	.896	.828
Sc3	18	.895	.837
Sc4	19	.901	.840☆

表13　Ｍａ尺度の作成

Ma	item	r	α
Ma	46	(Original)	.643
Ma1	32	.898	.622☆
Ma2	33	.905	.615
Ma3	31	.874	.713
Ma4	24	.788	.668
Ma5	28	.850	.653
Ma6	32	.898	.622

表14　Ｓｉ尺度の作成

Si	item	r	α
Si	70	(Original)	.663
Si1	54	.983	.795
Si2	32	.947	.495
Si3	19	.913	.246
Si4	29	.936	.494
Si5	30	.938	.500
Si6	32	.941	.519
Si7	36	.943	.587
Si8	40	.951	.634☆

できず，結局，ＭｆＭ１を基本尺度として採用した。ＭｆＭ１はオリジナル版の約半分の３１項目からなり，相関が0.903，α係数が0.606と満足できる結果であった。女性版ではＭｆＦ１からＭｆＦ３の３つの暫定尺度を作成した。ＭｆＦ３は３６項目と男性の場合より多かったが，相関は0.903，α係数は0.563と基準ぎりぎりの値であったので，ＭｆＦ３を基本尺度として採用した。

Ｐａ尺度の作成過程を表10に示した。暫定尺度はＰａ１からＰａ８まで作成した。Ｐａ８は項目数が半分強であるが，相関が0.905，α係数が0.709であったので，基本尺度として採用した。項目数をこれ以上減らすと相関やα係数が減少する傾向があった。

Ｐｔ尺度の作成過程を表11に示した。Ｐｔはオリジナル版のα係数が高く，比較的単一の症状を記述する項目群からなり，項目数を減らしてもα係数は減少しなかった。相関にのみ注目し，Ｐｔ１からＰｔ３の暫定尺度を作成した。Ｐｔ３は12項目と１／４の項目数で，オリジナルとの相関が0.907，α係数も0.815と高く，これを基本尺度として採用した。

Ｓｃ尺度の作成過程を表12に示した。Ｓｃもオリジナル版のα係数が高く，比較的等質の項目からなっており，項目数を減らすことは易しかった。暫定尺度はＳｃ１からＳｃ４まで作成した。Ｓｃ４は項目数が19と１／４まで減らすことに成功し，しかも相関は0.901，α係数が0.840と高かったので，これを基本尺度に採用した。

Ｍａ尺度の作成過程を表13に示した。Ｍａオリジナル版のα係数はやや低く，さほど等質の項目群から構成されているとは言えなかった。暫定尺度はＭａ１からＭａ６まで作成したが，相関が下がりがちのため，項目数を劇的に減少させることはできなかった。結局，Ｍａ１が相関0.898，α係数0.622と比較的良好な水準であったので，これを基本尺度に採用した。

Ｓｉ尺度の作成過程は表14に示した。Ｓｉオリジナル版もやや等質とは言えない項目群から構成されており，項目数を減らすとα係数が顕著に落ち込む傾向があった。暫定版尺度はＳｉ１からＳｉ８を作成し，Ｓｉ８が相関0.951，α係数0.634

と比較的良好であったので，これを基本尺度に採用した。

以上の手続きで，ＭＩＮＩ基本尺度を作成し，ＭＩＮＩ質問項目をＭＭＰＩ－１から選抜した。尺度間の項目に若干の重複があったため，合計250項目をＭＩＮＩの質問項目と決定した。ところが，ＭＭＰＩ－１の項目順に編成するとＳｉが一箇所にまとまってしまう傾向が顕著なため，乱数表を用いて項目順の並べ替えを行った。オリジナルＭＭＰＩとの項目番号対照表と採点方向などについては，村上・村上（1992）を参照していただきたい。

内容尺度の開発

ＭＭＰＩは診断の確定した病理集団を基準群，正常者を統制群として多数の質問に回答させ，項目分析の手続きを適用して作成された。つまり，回答に優意差のあった項目を集めて尺度を作成し，13尺度を集めたものにＭＭＰＩが命名された経緯があった。そのために各尺度に含まれる項目の意味内容は多岐に渡ることが多く，尺度の因子分析を行っても一因子的であることは少なく，α係数も現代の質問紙と比較すると低めである。項目分析に基づく尺度構成は頑健であり，被験者が質問項目の意味を見破りにくいという利点があるが，解釈が一意的に定まらない傾向もある。これに対して内容尺度は項目の意味内容と測定対象とを一致させようとする試みである。内容尺度の項目は意味が見破りやすく，被験者によっては回答を任意の方向に歪める可能性があるが，正直に答える大多数の被験者には有効である。ＭＩＮＩ性格検査はＭＭＰＩと尺度レベルで互換性がある基本尺度からなるが，基本尺度の意味を補う内容尺度の開発を因子分析を用いて開発することにした。基本尺度と内容尺度を合わせて解釈に用いれば，解釈結果はより頑健となる。

開発は，まず，ＭＭＰＩ標準化データをＭＩＮＩ標準化データに変換し，250項目の主成分分析を行った。第９因子まではα係数が0.71と高かったが，第10因子でα係数が０となり，それ以降の因子抽出が不可能となった。因子数は９と確定したので，因子パーシモニー基準で直交回転を行った。結果を表15に示す。

直交回転の結果は比較的良好な単純構造を示しており，各因子のみに顕著な付加量を持つ質問項目を集めていくつかの暫定的な内容尺度を構成した。次にそれら内容尺度のα係数を求め，α係数が低すぎる時は質問項目を追加したり，削除して試行錯誤的にα係数を最大化した。また，因子１から９から作成した暫定尺度の名称はとりあえずＸ１－Ｘ９とした。

まず，Ｘ１に29項目を所属させるとα係数は0.364と不満足な値であった。顕著な因子負荷量を持つ20項目に限定するとα係数は0.286とさらに低下した。尺度間の重複もやむをえないと考え，因子負荷量0.50以上の計39項目とするとα係数は0.465となった。十分望ましい値ではなかったが，これ以上の重複項目も望ましくなかったので，Ｘ１は39項目と決定した。

Ｘ２に単純構造化された27項目を採用すると，α係数は0.766と良好な値であった。単純構造化されていない１項目を削除するとα係数は0.767となお良好な値であった。したがって，Ｘ２に所属する項目は26項目と決定した。

Ｘ３はまず26項目を採用すると，α係数は0.638と良好な値であった。他の因子に所属するが顕著な因子負荷量を持つ１項目を加えるとα係数は0.647とさらに良好な値となった。しかし，単純構造化が不十分な３項目を削除するとα係数は0.650とさらに上昇した。結局，Ｘ３は23項目と決定した。

Ｘ４は単純構造化された30項目を採用すると，α係数は0.803と非常に良好な値であったので，これら30項目を決定した。

Ｘ５はまず２３項目を採用するとα係数は0.276と望ましくない値であった。重複項目もやむをえないと考え，因子負荷量0.52以上の10項目を加え33項目とするとα係数は0.412となった。さらに因子負荷量0.50以上に広げ38項目とすると，α係数は0.442となり，かなり改善された。このような結果からＸ５は38項目と決定した。

Ｘ６は単純構造化された３１項目を採用すると，α係数は0.739となった。比較的良好な値であっ

表15　ＭＩＮＩ質問項目の因子分析結果

項目	因子負荷量								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
246	-.85	.13	-.16	-.21	.31	.01	-.22	.20	.00
150	-.85	.21	.17	-.17	-.14	-.31	.19	.11	-.09
207	-.84	.32	.32	-.09	.18	-.00	-.10	.19	-.01
198	-.75	.43	.25	.04	.15	-.16	.23	.11	-.27
152	.75	.01	-.28	.17	-.08	.31	.13	.17	-.42
13	.73	.25	-.02	.07	.11	.61	-.10	-.03	.07
112	-.73	.18	-.25	.02	.32	-.46	.14	-.10	.17
248	-.71	-.08	.06	.09	.58	.01	-.20	-.28	.14
9	.71	.34	-.01	.25	-.24	.15	.27	-.35	-.21
202	.70	.29	-.09	.34	-.40	.11	.34	.06	.02
60	-.70	-.28	-.28	-.31	.04	-.45	-.02	.03	.24
206	-.68	-.15	.02	-.19	.64	.16	-.05	-.18	.11
182	.68	.25	.26	-.04	-.12	.30	.28	-.18	-.45
219	-.65	.21	-.53	.03	-.26	-.34	-.02	-.05	.25
66	-.65	.56	-.05	-.04	.08	-.22	-.36	.25	.09
236	-.65	.41	.08	-.44	.05	.12	-.16	.30	.27
122	-.65	.32	.20	.06	.12	.04	.15	.44	.45
140	-.64	-.29	.10	-.09	.32	-.42	.24	.39	-.05
157	.63	-.16	-.23	.44	-.20	.02	.50	.13	-.16
30	-.60	.06	.47	-.11	.57	-.07	-.11	-.19	.16
172	.60	-.37	.02	.48	-.35	-.17	.33	.13	.01
80	-.60	.55	.35	-.17	-.22	.31	.17	.06	.10
163	.59	-.18	-.25	.25	-.29	.26	.52	.16	-.21
114	.59	.06	-.16	.53	.19	.29	.46	.06	-.05
14	-.59	.45	.15	.11	-.50	.18	.37	.05	.02
84	-.58	.40	-.05	-.16	-.19	.40	.27	.42	.16
44	.58	.00	-.48	.11	-.31	.37	.23	.21	-.30
52	-.56	.48	-.04	.19	.18	.27	.32	.34	.31
109	-.51	.35	-.11	.13	.41	-.43	.44	-.18	.05
15	.02	.96	-.10	-.17	.04	-.09	-.09	.06	-.13
124	-.04	.94	.09	-.14	.04	-.23	.05	.06	-.14
34	.07	.92	.03	-.24	.02	-.27	.02	.05	-.10
118	.07	.91	-.11	-.14	.09	-.34	-.05	.02	-.12
16	.21	.86	-.07	.15	.00	-.05	.28	-.23	-.25
68	-.28	.83	-.06	-.38	-.04	-.27	-.07	.08	-.07
21	.05	.77	-.41	.16	.26	.12	.25	-.17	-.20
233	-.14	.76	.05	-.09	.05	-.55	.05	.06	-.28
213	-.40	.75	.29	-.36	.11	-.08	.02	.22	.04
181	-.24	.73	.53	-.08	-.26	-.10	.06	.17	.14
19	-.01	.72	.25	-.37	-.13	.30	-.09	-.40	.09
204	-.12	.71	-.31	-.26	.21	.10	-.23	.06	-.46
46	-.53	.70	.23	.05	.21	.15	.07	.23	.19
205	-.40	.69	.15	-.15	-.29	-.24	-.33	-.10	-.22
7	-.38	.69	.25	.05	.27	.26	-.08	.33	.22
125	-.45	.67	-.43	.18	-.07	.18	.08	.02	-.29
51	-.07	.64	-.36	-.09	.51	-.20	.09	-.37	-.01
183	-.18	.64	-.58	.16	-.07	-.18	.40	-.04	-.03
119	-.30	.61	-.03	.20	.19	-.25	.59	-.22	-.02
129	-.51	.60	.31	.09	.00	.18	-.12	-.47	-.08
54	-.08	-.60	-.33	-.03	-.13	.51	-.00	.48	.10

項目	因子負荷量 1	2	3	4	5	6	7	8	9
136	.03	.59	-.52	.40	.09	.43	.02	.07	.13
171	.07	.58	-.11	-.55	-.13	-.31	-.08	-.46	-.08
188	-.42	.57	.03	-.28	-.01	-.56	-.32	-.03	-.04
5	-.25	.57	-.23	.22	.23	-.55	.21	-.34	-.04
186	.17	.54	-.32	.07	-.32	.26	.50	-.24	-.31
83	-.43	.46	.26	-.45	-.11	.32	.16	-.06	.44
74	.09	.18	-.93	.07	.12	.09	-.04	-.24	.06
65	-.05	-.05	-.92	.21	.01	.28	.01	-.12	.00
221	.00	-.00	-.92	-.03	.02	-.12	-.26	-.17	-.19
192	-.05	-.09	-.87	.23	.01	.07	-.07	-.37	-.16
91	.07	-.14	-.84	-.17	-.04	.14	.23	.10	-.39
161	.09	.34	-.78	.26	.12	.10	.01	-.42	-.08
85	.24	.23	-.75	.08	-.06	.40	.30	-.11	-.24
141	-.11	-.12	.73	.04	.32	-.11	.27	-.39	-.31
35	-.09	.18	-.73	-.06	-.36	.25	.24	-.02	-.42
222	.11	-.12	-.72	.51	-.34	-.16	.18	-.12	-.10
38	.32	.00	-.70	-.18	-.25	.21	.37	-.27	-.24
17	.12	.22	-.70	.10	-.38	.05	.14	.25	-.47
241	-.10	-.20	-.68	.56	-.36	.13	-.04	-.04	-.15
211	.45	-.18	-.67	-.06	.16	-.20	-.45	-.11	.15
215	-.02	.22	-.67	.18	-.21	.21	.42	.22	-.40
220	-.35	-.36	-.66	.10	.46	-.08	-.29	.05	-.01
160	-.01	-.18	-.65	.23	-.28	.02	.58	-.25	-.12
147	.32	-.15	-.64	.13	-.30	.51	-.09	.18	-.25
176	.16	-.05	-.63	.03	-.37	.13	.43	.27	-.41
76	-.33	.19	.60	.22	.47	.26	-.17	-.27	-.23
88	.12	-.17	-.60	.13	-.15	.10	.47	.00	-.58
242	.32	-.52	-.56	-.11	-.28	-.15	-.36	.26	-.09
237	-.02	.50	-.56	.24	-.48	.31	.08	.19	-.14
210	.38	-.12	-.51	.49	-.04	.21	.32	.16	-.42
71	.46	-.01	-.50	.43	-.00	-.27	.49	.03	-.19
144	-.08	-.16	.48	-.36	.24	.48	-.45	.19	.29
56	.07	.02	-.17	.98	-.06	-.01	-.08	-.03	.03
154	.08	.11	-.14	.97	.02	-.02	-.12	-.05	-.01
169	.03	.08	-.03	.97	-.09	.09	-.20	-.05	-.04
155	.12	-.16	-.14	.94	-.01	-.09	-.00	-.00	-.20
110	.12	-.20	-.05	.91	-.22	.04	.06	.13	-.22
101	-.08	-.17	-.08	.88	-.32	.11	.14	-.24	-.04
92	.16	.04	.02	.85	-.16	-.04	-.30	.08	-.35
63	.32	.03	.00	.81	-.27	.02	.31	.23	.12
231	.47	.05	.26	.76	-.24	.05	.14	.21	.13
95	-.28	.12	.07	-.74	.43	-.22	-.18	.03	-.31
3	.06	.38	.08	.73	-.30	.15	-.42	-.12	-.11
75	-.10	.02	-.23	.73	-.02	-.08	-.05	-.06	-.62
26	-.19	-.18	-.41	.73	-.39	.03	.25	-.06	-.14
24	.11	-.21	-.14	.72	-.06	-.16	.17	-.02	-.59
194	.54	-.16	-.10	.70	-.00	.26	.32	-.06	-.09
226	-.17	.20	.03	-.69	.57	.23	-.14	-.05	-.22
111	.15	-.10	-.26	.67	-.50	.34	.22	.05	-.18
107	.29	-.21	.03	.66	-.38	.02	.49	.17	-.10
244	-.42	.45	-.11	.66	-.28	.04	.05	.06	-.28

項目	因子負荷量 1	2	3	4	5	6	7	8	9
32	.48	.32	-.24	.64	.03	.28	.34	.03	.05
146	-.23	-.35	-.03	.63	-.56	.16	.10	-.16	-.22
224	.00	-.21	.06	.62	-.30	.48	.41	.16	-.25
18	-.01	.47	.07	.61	-.38	.17	-.09	-.43	-.19
235	.29	-.32	.01	.61	-.02	-.38	.01	.07	-.55
170	.29	-.21	-.14	.59	-.12	.03	-.26	-.29	-.59
143	.20	-.19	-.21	.56	-.41	-.22	.31	-.21	-.45
153	.48	.06	-.32	.56	-.31	.13	.48	-.04	-.02
196	.06	-.40	-.29	.55	-.54	.09	.13	.11	-.35
159	.31	.02	-.22	.54	-.35	.28	.35	.08	-.49
175	-.35	.21	.27	-.50	.19	-.40	.04	.42	.38
96	-.24	-.09	-.00	.04	.92	-.02	-.20	-.13	.16
132	-.22	-.11	-.06	.21	-.90	-.08	-.01	.16	-.23
127	-.39	.06	.15	-.16	.88	-.03	-.01	-.05	.11
201	-.38	.18	.09	-.19	.86	.06	.03	-.03	.20
40	-.21	-.04	.16	.14	-.84	-.08	-.02	-.43	-.05
214	-.11	.22	-.05	.30	-.80	-.00	-.24	-.06	.39
195	-.32	.12	.12	-.38	.78	.09	.13	-.28	-.00
145	-.26	.13	.40	-.14	.77	.13	.10	-.28	.18
234	-.39	-.25	.10	-.36	.77	-.13	-.03	.14	.13
168	-.02	.11	.11	.28	-.72	.30	.22	-.14	-.47
115	.13	-.27	-.09	.32	-.68	.07	.31	-.49	-.04
142	-.21	-.39	-.07	.54	-.67	-.10	.15	.08	-.17
184	-.05	.37	-.09	-.52	.65	-.13	.15	.05	.35
39	-.47	.32	.25	-.36	.63	.25	-.15	-.10	.01
99	.23	-.23	-.51	-.04	.61	.45	-.12	-.03	-.19
37	.05	-.37	.37	.07	-.61	.06	.57	-.13	.06
197	-.36	.07	-.16	.42	-.60	.05	.51	-.09	-.15
102	.07	.13	-.00	.32	-.59	-.04	.54	-.27	-.41
55	-.38	.54	.05	.13	-.58	.16	.03	.35	-.25
36	.02	.03	-.38	.01	-.57	.47	-.07	.22	-.51
240	.27	-.15	-.33	.10	-.55	.39	.44	.38	.04
247	-.42	.37	-.09	.22	-.53	.19	.28	-.33	-.35
128	.12	-.20	-.17	.30	-.52	-.09	.51	-.17	-.51
117	.08	-.02	-.18	.08	-.20	.93	.15	.06	.12
158	.15	-.29	-.25	.20	.05	.87	.15	.10	.02
79	.21	-.17	-.26	.19	.10	.85	.15	.13	-.23
148	-.19	.08	-.00	.02	.14	-.85	.14	-.38	-.25
4	.07	-.27	-.06	.06	.11	.83	.37	-.27	-.08
174	.15	-.30	-.26	-.10	-.27	.83	.20	-.06	.07
49	.33	-.09	.12	.05	-.28	.82	-.12	.21	-.26
177	.05	-.25	.17	.23	.42	.80	.11	.14	.08
217	.15	-.13	.33	-.19	-.13	.77	-.15	.30	-.29
151	-.07	.47	.20	-.04	-.09	-.77	-.07	.07	-.35
22	.02	.26	-.30	.26	.31	.76	-.29	-.10	-.03
29	.15	-.43	-.09	.35	.02	.76	.26	-.13	-.07
11	-.01	.33	.38	-.19	-.05	-.75	-.19	-.33	-.03
208	.22	-.11	-.46	.22	-.15	.74	.25	.22	-.07
130	.28	.05	-.05	-.20	-.42	.71	-.20	.40	.10
58	-.04	.08	-.34	.19	-.33	.69	.51	.09	-.00
43	.23	.08	-.32	-.09	-.19	.67	.29	.44	-.25

項目	因子負荷量								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
185	.18	.25	-.49	-.25	-.05	.66	-.19	.35	-.07
41	.51	.26	-.32	.10	-.13	.66	.31	.12	-.09
187	.63	-.09	-.28	.12	.11	.66	.15	.00	-.19
239	.17	.16	-.16	.11	-.25	.65	.29	.28	-.51
135	-.38	.42	-.20	.18	-.06	-.62	.41	-.21	-.00
78	.58	.31	-.27	.08	-.15	.60	.08	.04	-.31
200	.19	-.44	.24	.31	.10	.59	.45	-.17	-.17
162	.12	.34	-.19	.09	-.48	.59	.16	.23	-.41
149	-.24	.26	.58	-.02	.05	-.59	-.08	-.29	-.32
212	.43	-.27	-.07	-.02	-.51	.58	-.27	.16	-.17
2	-.04	.26	-.38	-.15	-.43	.57	.36	.34	-.05
245	.30	.06	-.36	.06	-.23	.54	.40	.35	-.39
108	-.39	.28	.14	.09	-.44	.53	.25	.06	-.44
73	.44	.14	-.32	-.04	-.22	.49	.42	.05	-.47
139	-.01	.23	.00	-.03	-.53	.02	.79	-.23	.02
126	.04	.09	-.35	.05	.22	.15	.77	.09	-.44
10	.14	.22	-.37	.25	-.23	-.07	.76	.30	-.09
121	.31	.01	-.23	.24	-.26	.22	.75	.34	-.03
12	.19	.02	-.35	.26	-.11	.35	.72	.32	.14
209	.40	-.07	.04	.50	-.24	-.08	.71	-.04	.14
57	.16	.13	.33	.01	-.05	.15	.70	.09	-.56
104	.31	.26	-.13	-.03	-.15	.18	.70	.04	-.53
98	.13	.04	-.50	-.08	-.02	-.43	.69	.06	-.26
137	-.18	.22	-.08	.07	.03	.47	.69	.37	-.27
179	.63	-.11	.14	-.05	.04	.31	.68	-.05	.03
93	.13	.01	-.66	.07	.04	.01	.68	.15	-.25
250	.34	.05	-.34	.29	.00	.04	.66	-.22	-.45
45	.05	-.38	-.18	.51	-.03	-.10	.65	-.34	-.07
89	.25	.52	-.20	.10	-.44	.10	.64	-.03	-.02
189	.09	.29	-.48	-.07	-.27	.08	.64	-.13	-.40
180	-.02	.04	.42	-.15	.04	.33	-.62	.47	.29
167	-.04	-.12	.23	.48	.00	.57	.61	.01	-.05
164	.30	-.35	-.15	.24	-.30	.23	.60	.13	-.43
100	.06	-.42	-.21	.15	-.34	-.01	.59	-.09	-.53
191	.43	-.13	.12	.38	-.11	-.04	.58	-.31	-.43
70	.21	.19	-.29	.42	-.52	.15	.58	-.09	-.18
243	-.19	.04	-.40	.06	-.52	.12	.57	.41	-.11
20	.32	-.18	-.52	.42	-.13	.03	.56	.11	-.29
25	.25	-.03	-.36	.15	-.39	.00	.56	.07	-.55
193	.20	-.07	-.10	.33	-.53	.05	.56	.25	-.42
87	.34	-.02	-.24	.52	-.41	.10	.55	.11	-.25
232	-.44	.02	.37	-.25	.46	-.33	-.47	-.12	-.22
62	-.05	.23	-.04	.23	.15	-.02	.19	.91	.07
133	.12	.34	-.20	-.06	-.06	-.12	.09	-.89	-.08
106	-.21	-.08	.07	-.02	-.16	-.14	.20	.89	-.26
216	.03	-.01	.10	.19	.21	.20	.36	-.86	-.08
156	-.03	-.03	-.21	.10	-.39	.10	.16	.85	-.19
173	.07	.19	.16	-.03	-.47	.12	.07	.83	.03
90	.12	-.44	.08	.21	.12	.14	.17	.81	-.16
165	-.23	.30	.22	.17	.06	-.23	.17	.80	-.24
138	-.13	-.06	.05	-.06	.33	.17	-.27	.77	.40

項目	因子負荷量 1	2	3	4	5	6	7	8	9
72	-.05	.04	.07	.02	-.03	-.10	.35	-.76	-.54
50	-.04	.41	-.41	.10	-.17	-.17	-.01	-.75	-.17
116	-.06	-.34	.17	-.07	.20	.29	-.20	.75	.36
81	-.00	.32	.29	.23	-.14	.14	-.09	.74	-.41
8	-.05	.04	.26	-.08	-.21	-.29	.41	-.74	-.28
230	-.16	.22	.25	.35	-.29	-.28	.15	.73	-.15
53	.05	-.09	.23	.43	.02	-.05	.39	-.73	-.25
227	-.16	.56	-.09	-.08	-.24	-.04	-.13	.72	.21
69	-.12	.09	-.18	-.36	.12	.46	.24	.72	-.08
134	-.35	-.15	.09	.08	.15	.26	-.01	.70	-.51
42	.24	.36	.30	.03	-.03	-.10	.43	.70	-.18
223	.13	.07	-.57	-.01	-.16	.08	.26	.68	-.30
59	.17	.25	.07	.17	-.12	.21	-.31	-.67	-.52
33	-.32	.36	-.05	-.11	-.04	-.05	.44	-.63	-.39
120	-.49	.54	.00	-.03	-.04	.02	-.01	-.62	.31
203	-.28	.15	.41	.26	.36	-.15	.06	-.61	-.37
113	-.41	-.01	.51	.21	.35	.08	.11	-.60	-.13
103	-.15	.43	.14	.09	-.37	-.42	.29	.60	-.06
228	-.04	-.38	.11	.29	.14	-.14	.19	-.59	-.58
6	.04	.08	.51	-.06	.05	.19	.15	.59	-.57
97	.14	.50	.22	.31	.16	-.10	.40	.58	-.26
86	-.04	-.42	.29	-.02	-.48	.08	.43	-.56	-.03
31	.33	.33	-.43	-.18	.02	-.13	-.18	-.56	-.45
64	.12	-.01	-.46	-.11	-.46	.41	.35	.51	-.06
82	.12	.00	-.31	.10	.20	.23	.04	-.05	-.88
27	.04	.33	-.31	-.11	-.30	-.05	-.02	.07	-.83
28	-.20	.11	-.22	.04	-.34	.15	.25	.15	-.82
61	.32	.17	.00	.23	-.32	.15	.08	-.15	-.81
238	-.24	.26	-.22	-.05	-.38	-.08	-.12	-.01	-.81
249	-.18	.09	.08	.07	-.05	-.37	.16	-.36	-.81
199	.09	.08	-.18	.16	-.06	.03	-.01	-.55	-.79
218	.16	.13	-.19	.36	.03	-.27	.25	-.24	-.77
94	-.55	.08	.02	-.02	-.03	.06	.34	.19	-.73
48	-.11	-.02	-.28	.14	.33	-.48	.12	-.07	-.73
166	.18	.40	-.21	.43	.06	-.32	.05	.01	-.68
47	.21	.17	-.34	.25	-.21	.02	.43	.29	-.66
23	.14	-.01	-.28	.15	-.33	.18	.47	-.28	-.66
123	.28	-.36	-.29	.37	-.26	-.13	.29	.10	-.63
1	.03	.16	-.16	.27	-.56	-.12	-.21	-.33	-.63
105	.13	.14	-.07	.49	-.21	.30	-.28	-.34	-.62
67	.33	-.19	-.48	.01	-.19	-.11	.28	.35	-.61
229	.31	.43	-.13	.11	-.00	-.12	.37	-.45	-.58
131	.56	.17	-.35	.20	-.18	.19	.31	-.03	-.57
225	.54	-.01	.15	.12	.01	.35	.47	.11	-.55
178	.42	-.27	-.32	.24	-.04	.23	.46	.12	-.55
77	.14	.22	-.03	-.08	-.41	-.16	.52	.41	-.54
190	.41	.05	-.19	.10	-.46	.42	.34	.04	-.53
Contr.	27.77	27.79	27.75	27.78	27.75	27.85	27.82	27.72	27.76

た。因子負荷量のやや小さい１項目を削除し30項目とすると，α係数は0.722と低下した。したがって，Ｘ６は31項目と決定した。

Ｘ７はまず28項目を採用するとα係数は0.767と良好な値であり，特に単純構造が乱れてもいなかったので，この28項目を決定した。

Ｘ８は単純構造化された33項目を採用すると，α係数は0.427とやや不十分な値であった。１項目増やし34項目とするとα係数は0.422と低下し，一方，因子負荷量が0.60以上の27項目としてもα係数は0.394とやはり低下した。やむを得ないのでＸ８は当初の33項目と決定した。

Ｘ９は単純構造化された23項目を採用するとα係数は0.791と良好な値であったので，この23項目を決定した。

このような手続きで９つの内容尺度が構成された。内容尺度の意味を確定するために、各尺度とＭＭＰＩの129尺度との相関を計算した。この結果は村上・村上（1992）に掲載したためここでは省略し、確定した名称のみを以下に列挙する。

Ｘ１…DEP : Depression, Apathy, and Worry 抑鬱感・無力感・心労

Ｘ２…ASS : Discomfort for Social Association 交際嫌い

Ｘ３…SUS : Suspition, Mistrust, and Hostility 猜疑心・不信感・敵意

Ｘ４…PAR : Schizophrenia, Paranoid Type 妄想型精神分裂病

Ｘ５…BOD : Bodily Symptoms　身体症状

Ｘ６…SOC : Social Introversion　社会的内向尺度

Ｘ７…TEN : Tension and Worry 緊張・心労

Ｘ８…FEM : Feminine Interests　女性的興味

Ｘ９…SAD : Schizoaffective Disorder　分裂感情障害

最後に、ＭＩＮＩ標準化データを元に各尺度の標準化を行い、別の被験者集団を用いて再検査法による信頼性係数を求めた。被験者は大学生男性42名、女性22名、専門学校生女性49名、年齢の最頻値は19歳であった。ＭＩＮＩは１週間の間隔を置き２回実施し、尺度得点の相関を求めた。内容尺度の信頼性係数は極めて高く、0.80から0.93の範囲にあった。基本尺度のＬが0.70とやや低めであった他は0.73から0.88の間で、満足できる値であった。詳しくは表16に示す。

表16　ＭＩＮＩ尺度の項目数、ＭＭＰＩとの相関、内的整合性、信頼性係数（村上・村上, 1992）

scale	item	r	ρ	α	(MMPIのα)
L	11	.926	.701	.426	(.359)
F	34	.904	.843	.641	(.650)
K	11	.906	.851	.734	(.687)
Hs	15	.899	.769	.411	(.285)
D	30	.909	.781	.510	(.476)
Hy	37	.903	.765	.428	(.433)
Pd	35	.907	.787	.587	(.573)
Mf(male)	31	.903	.772	.606	(.657)
Mf(female)	36	.903	.732	.563	(.574)
Pa	25	.905	.742	.709	(.669)
Pt	12	.907	.871	.815	(.792)
Sc	19	.901	.853	.840	(.773)
Ma	32	.898	.843	.622	(.643)
Si	40	.951	.883	.634	(.663)
DEP	39		.826	.465	
ASS	26		.835	.767	
SUS	23		.836	.650	
PAR	30		.797	.803	
BOD	38		.836	.442	
SOC	31		.885	.739	
TEN	28		.930	.767	
FEM	33		.895	.427	
SAD	23		.880	.791	

r：原尺度との相関係数
α：内的整合性による信頼性
ρ：再検査法による信頼性

ＭＩＮＩ基本尺度はＭＭＰＩ－１基本尺度と尺度レベルで互換と考えられるほど相関が高く、再検査信頼性も優秀である。また、ＭＩＮＩ内容尺度のα係数はやや高く、再検査信頼性係数は現在の心理検査の中では最優秀と言える。

終りに

ＭＩＮＩはＭＭＰＩ－１と同様に、コンピュータ方式（PC-9800シリーズ対応）で個別に実施できるが、多人数に同時実施するためには、冊子方

式でも実施できる。回答用紙はマークカード(SEKONIC SR-305, SR-305S対応）とした。採点から解釈までを完全に自動的に実行する。採点盤を作成することはできるが、採点作業が複雑であるうえ、コンピュータによる自動解釈を利用できなくなるため、標準的にサポートしなかった。パソコンにマークカードリーダ（24万円程度)、ページプリンタを接続すると、超強力システムとなり、一人当たり約6ページのレポートを一分で出力する。低速のドットプリンタの場合では４～５倍の所用時間となる。ページプリンタでも200名のデータを処理するには200分が必要であるが、大型計算機を用いた郵送による解釈サービスはいくら急いでも４～５日はかかってしまう。パソコンによる筆者のシステムは既存の解釈サービスと比較にならないほど高水準の自動解釈レポートを手元で出力できる利点がある。もはや採点盤の存在意義はなくなった。

ＭＩＮＩはＭＭＰＩの短縮版ではなく、改定版であり、独立した質問紙である。項目数はＹＧの約２倍で、20分前後の実施時間が必要であるが、防衛的な回答態度をとっても見破ることができる。また、普通の被験者には質問項目から測定される意味内容を推定することは不可能である。教員採用試験などではＹＧが面接の参考資料として実施されているが、大部分の学生は問題のあるプロフィールにならないよう回答の練習をして受検しているのが実態である。ＹＧは質問項目から測定内容を見破りやすいので、残念ながら練習は効果的である。しかし、ＭＩＮＩはこのような練習は効果がなく、精神病理には極めて敏感で、精神医学的な診断以外の分野でも、メンタル・ヘルス関係のチェックや適性検査の一種としてもっとも有望な、かつ、唯一の心理検査である。

引用文献

(1) Dean. E.F. 1972 A Lengthened Mini: The Midi-Mult. Journal of Clinical Psychology, 28, 68-71.

(2) Faschinbauer, T.R. 1974 A 166-item short form of the group MMPI : The FAM. Journal of Consulting and Clinical Psychology, 42, 645-655.

(3) Kincannon, J.C. 1968 Prediction of the standard MMPI scale scores from 71 items: The Mini-Mult. Journal of Consulting and Clinical Psychology, 32, 319-325.

(4) 村上宣寛・村上千恵子 1992 コンピュータ心理診断法. ―MINI, MMPI-1自動診断システムへの招待―. 学芸図書.

(5) Overall, J.E., and Gomez-Mont, F. 1974 The MMPI-168 for psychiatric screening. Educational and Psychological Measurement, 34, 315-319.